

災害に対する備えは万全ですが

(風水害・土砂災害)

これからの時期は、台風や雷雨などの長雨や大雨により危険度が高まり風水害や土砂災害が発生するおそれがあります。

災害による被害を最小限に食い止めるには、日ごろから気象情報に注意するとともに、家の周りの危険箇所を確認したり、非常持出し品を準備したりするなど、事前に効果的な備えをしておくことが大切です。

◆避難場所とは

事前に確認を！

風水害や土砂災害の発生時に安全に避難するためには、避難所の位置や避難所までの経路を事前に確認しておくことが重要です。

また、洪水やがけ崩れが予測される危険箇所を普段から把握しておくことも心掛けてください。

自宅の窓や屋根、雨どい、自宅周りの側溝などを再点検し、修理や清掃などが必要な場合には、早めに対処しておきましょう。

被災時に家族が離れている場合を想定し、安全確認の方法を話し合っておくことも大切です。

◆非常時の準備と

早めの避難を！

貴重品・衣類・非常食・携帯用ラジオ・懐中電灯・電池など、必要最小限の荷物をいつでも持ち出せるよう準備しておきましょう。

がけ崩れや土石流の恐れが高まったときは、テレビやラジオの警戒情報や市役所、消防、警察などからの情報に注意しましょう。

また、雨量の変化や河川・斜面・がけなどの環境の変化にも気を配り、危険を感じたときは早めに避難するよう心掛けてください。

◆竜巻など

突風にご注意ください！

竜巻などの発生が予想されるときには気象庁から竜巻注意情報が発表されます。

竜巻注意情報が発表された場合には、まず周囲の空の状況に注意を払ってください。さらに、空が急に真っ暗になる、大粒の雨が降り出す、雷が起こるなど、積乱雲が近づく兆候が確認された場合には、頑丈な建物に避難するなど身の安全を確保するよう心掛けてください。

◆市では、自主防災組織の結成を推進しています

災害はいつ起こるかわかりません。「自分の身は自分で守る」という「自助」と、「自分たちの地域は自

分たちで守る」という「互助」が災害から被害を軽減するために大切です。これら地域ぐるみで防災活動に取り組む組織として「自主防災組織」があります。

まだ「自主防災組織」のない地域では、これを契機に家族や地域ぐるみで話し合い、いざというとき円滑に行動できるような「自主防災組織の結成」など地域の防災力向上に取り組んでいただきますようお願いいたします。

「自主防災組織の結成」については県や市で推進していますので、お気軽にご相談ください。

なお、平成22年4月1日現在の笠間市の自主防災組織は、笠間地区13組織、友部地区7組織、岩間地区6組織の合計26組織です。組織率(世帯)は約11%になっています。

【問合せ】

総務課(内線210)

土砂災害の種類と前兆現象



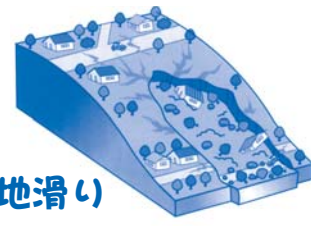
■ 崖崩れ

- ・湧水量の増加
- ・新たな湧水の発生
- ・湧水の停止、吹き出し
- ・地鳴り



■ 土石流

- ・小石の落下
- ・湧水の濁り
- ・亀裂の発生
- ・河川水位の上昇
- ・流木の発生
- ・土臭いにおい
- ・流水の濁り
- ・地鳴り
- ・河川水位の急激な減少



■ 地滑り

- ・井戸水の濁り
- ・根の切れる音
- ・地鳴り、山鳴り
- ・湧水の枯渇、増加
- ・樹木の傾き
- ・地面の振動